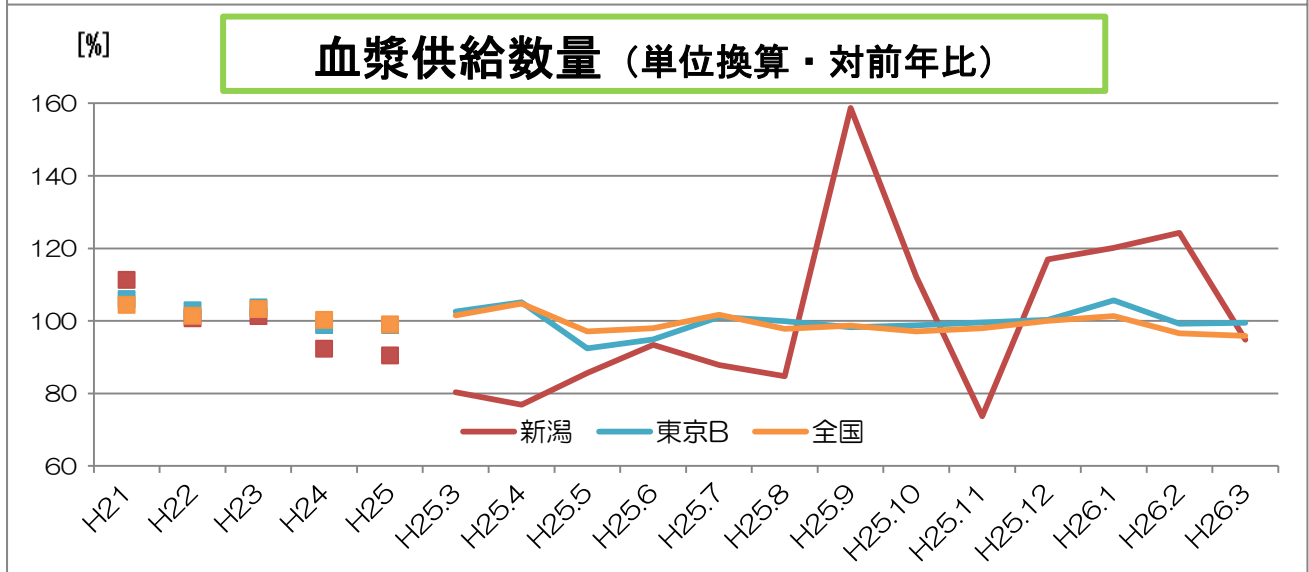
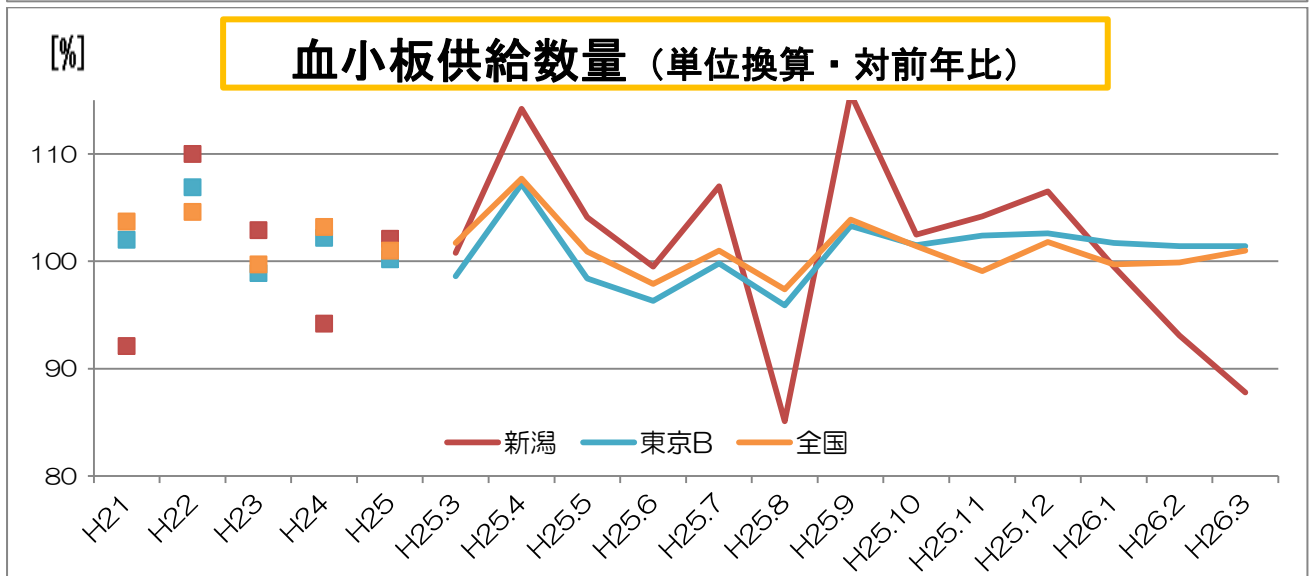
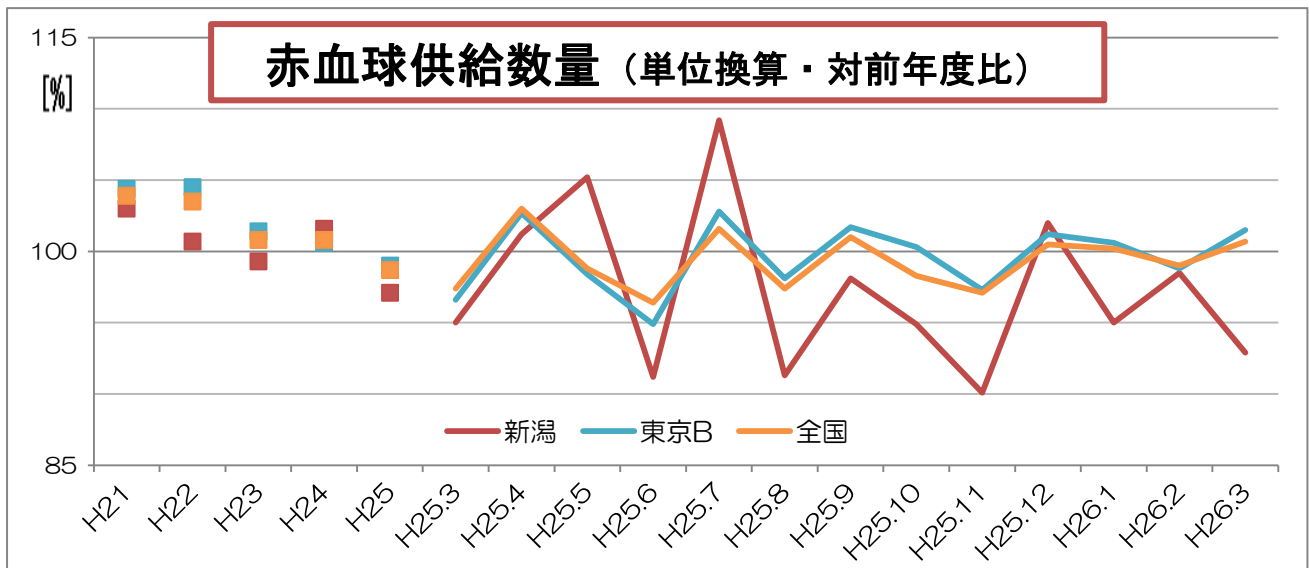
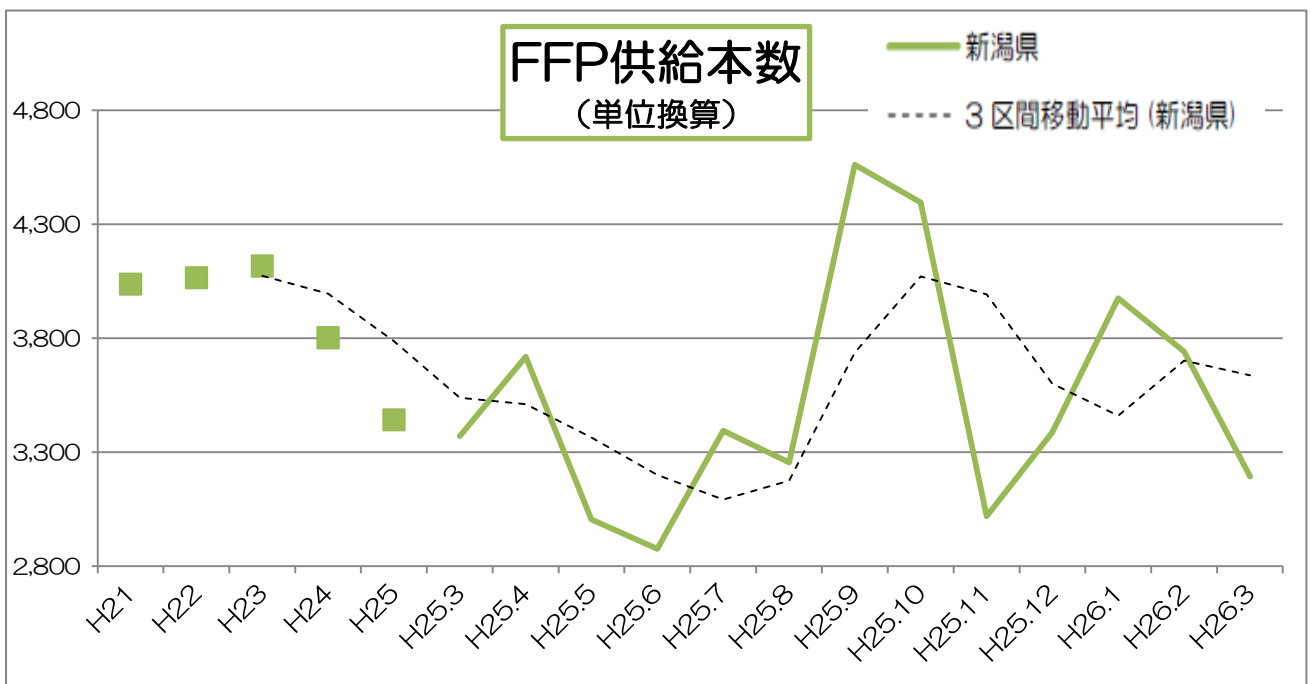
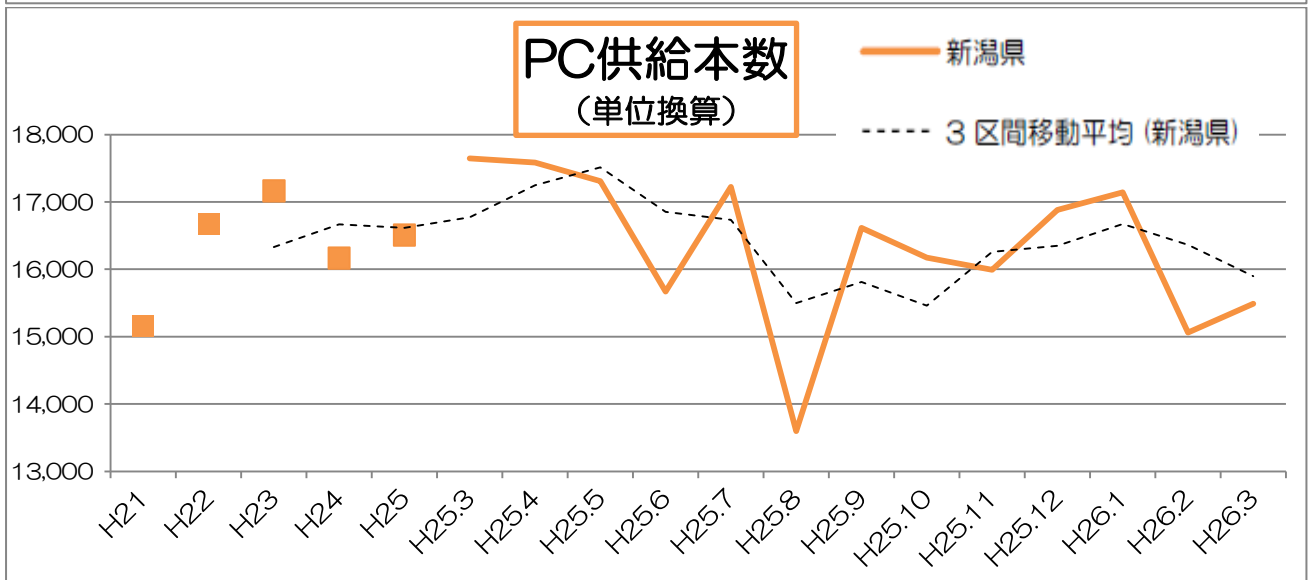
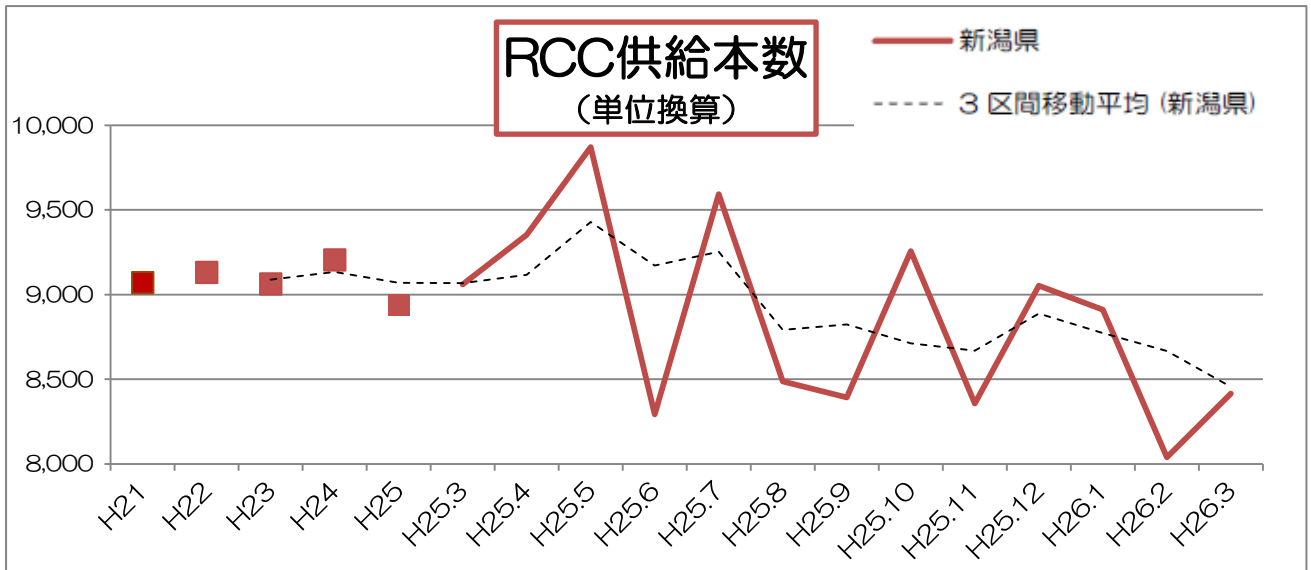


\* 日本赤十字社ホームページ「数値で見る血液事業」より引用。

\* 管内供給本数を単位換算、対前年同月比で示した。過去 5 年(月平均供給本数)のデータを追加した。





## H26 年 血液製剤使用状況集計結果

対象： 新潟県内の輸血を行う主要な医療機関 82 施設

入力いただいたデータは下記の表の通り一般病床数により 6 つの規模別に分類して集計

◆3 月の特徴： 今月は血漿製剤の減少に尽きる。規模 B が前月比 62% と大幅減少している影響が一因と考えられる。また規模 B は赤血球製剤、血小板製剤についても使用量が抑えられていた。

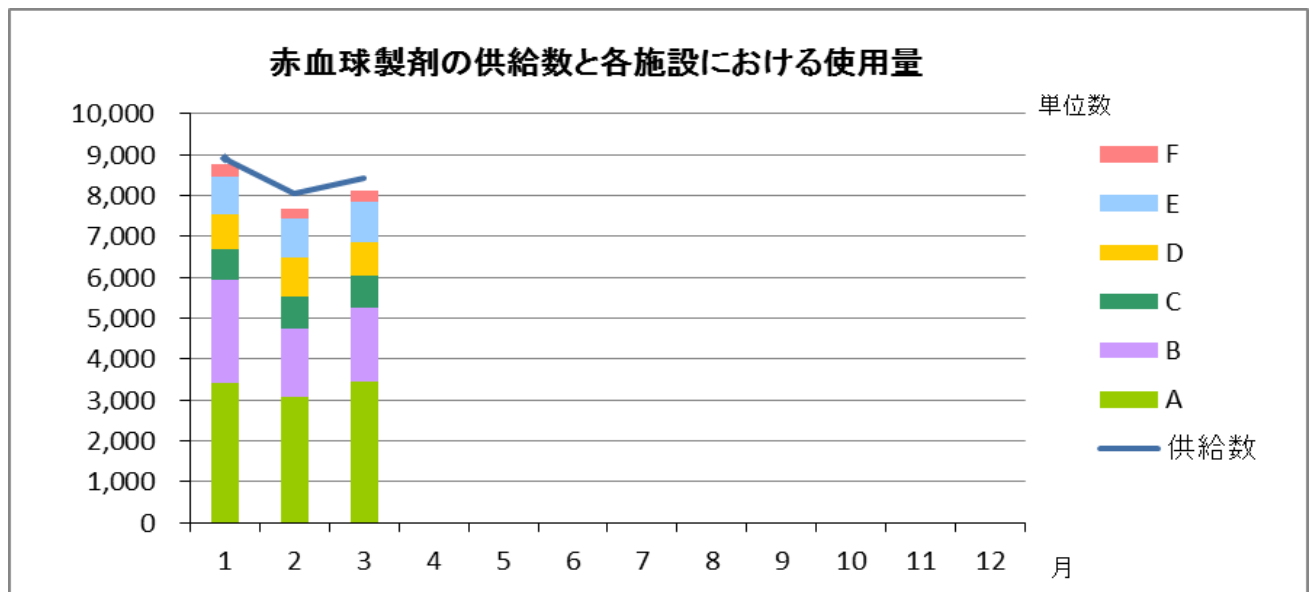
施設規模(一般病床数による)	施設数	病床数	
A	500床以上	6	3,562
B	400～499床	5	2,135
C	300～399床	7	2,273
D	200～299床	9	2,226
E	100～199床	23	3,674
F	0～99床	32	1,626
計		82	15,496

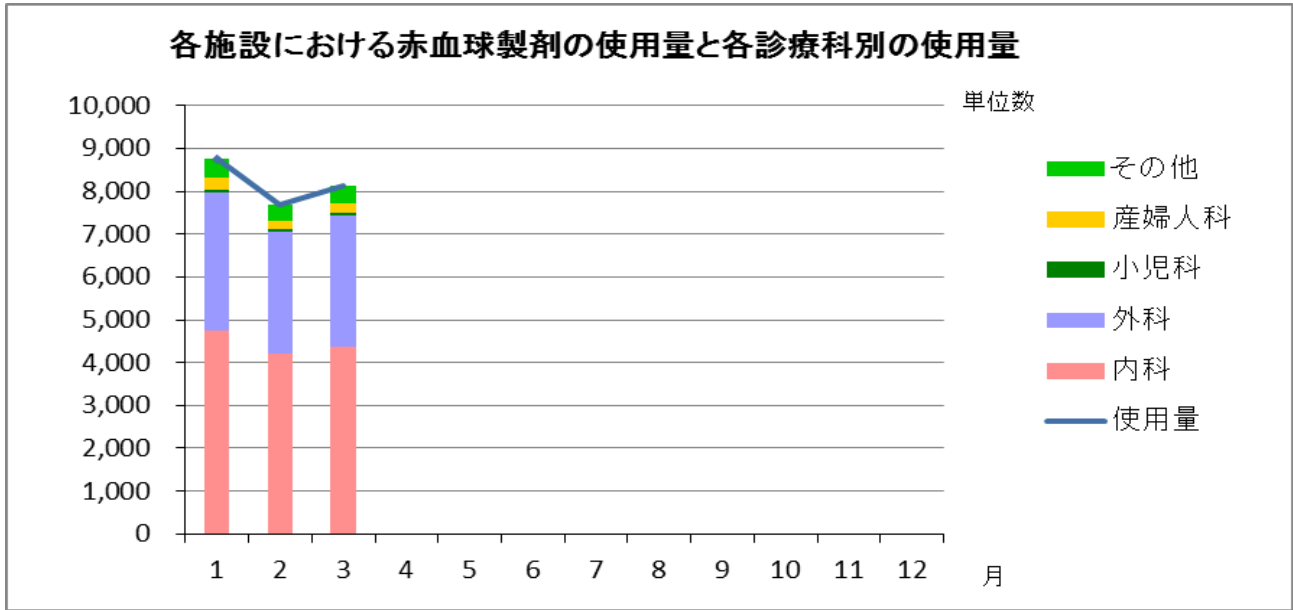
### ○赤血球製剤

赤血球製剤の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	3,438	1,642	1,315	62	179	240	3,438	100.0
B	1,802	1,023	709	0	16	54	1,802	100.0
C	794	471	275	0	12	36	794	100.0
D	826	387	353	0	0	86	826	100.0
E	1,002	640	358	0	0	4	1,002	100.0
F	264	216	48	0	0	0	264	100.0



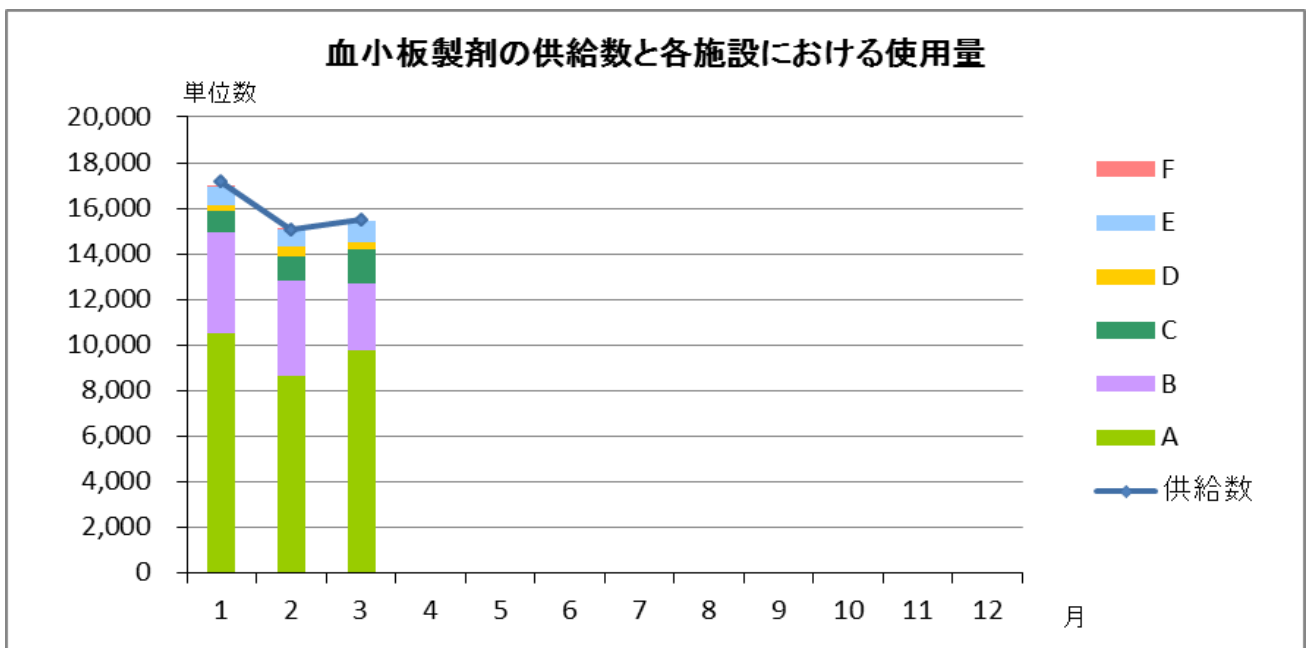


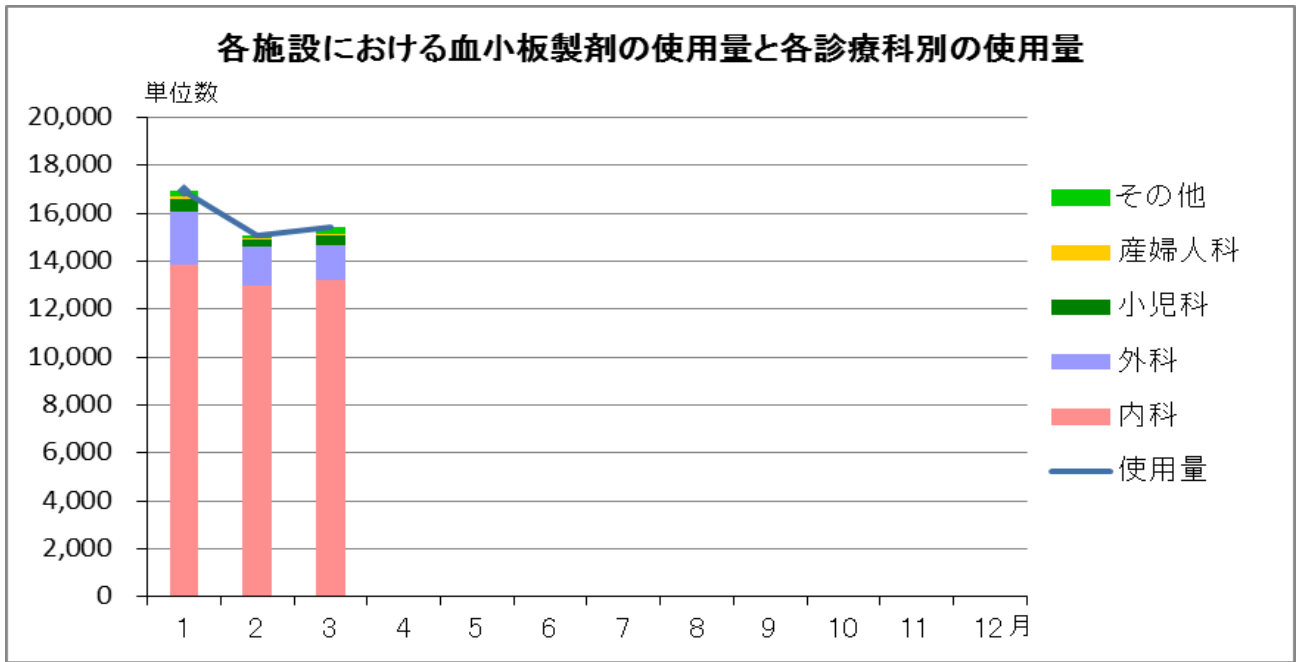
## ○血小板製剤

血小板製剤の使用量と各診療科別による使用量

\*各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	9,782	8,120	900	372	95	295	9,782	100.0
B	2,885	2,650	235	0	0	0	2,885	100.0
C	1,510	1,425	85	0	0	0	1,510	100.0
D	300	170	130	0	0	0	300	100.0
E	965	835	130	0	0	0	965	100.0
F	0	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!



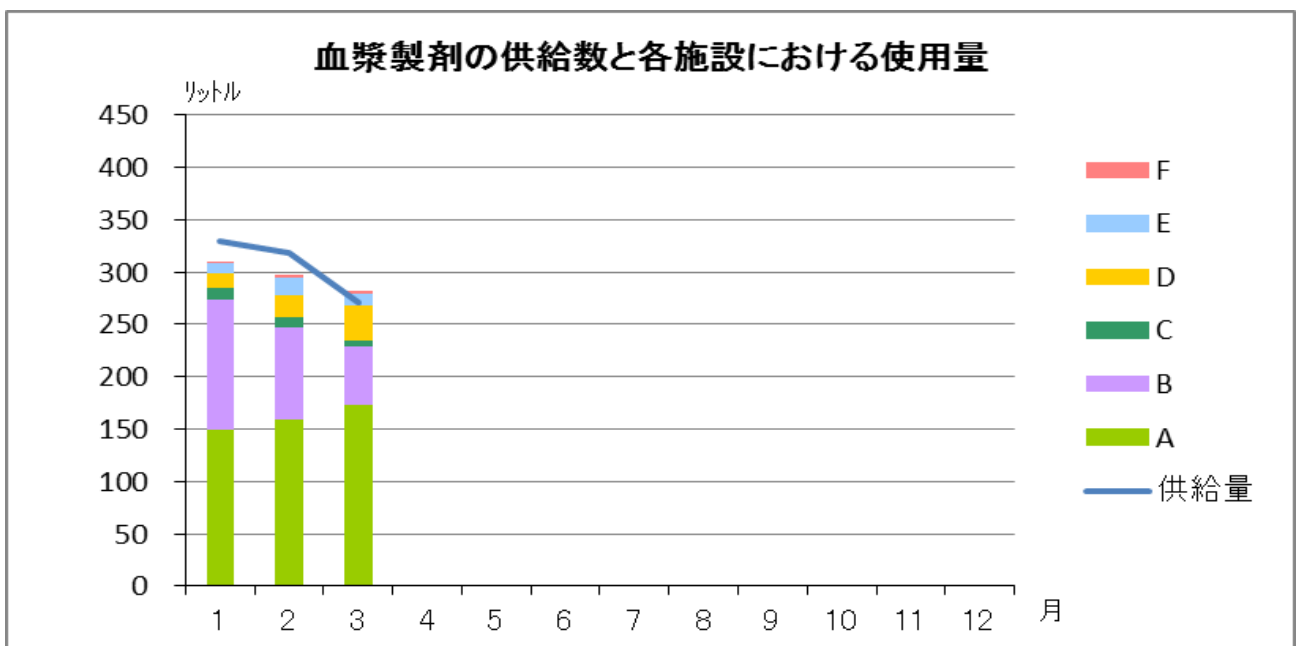


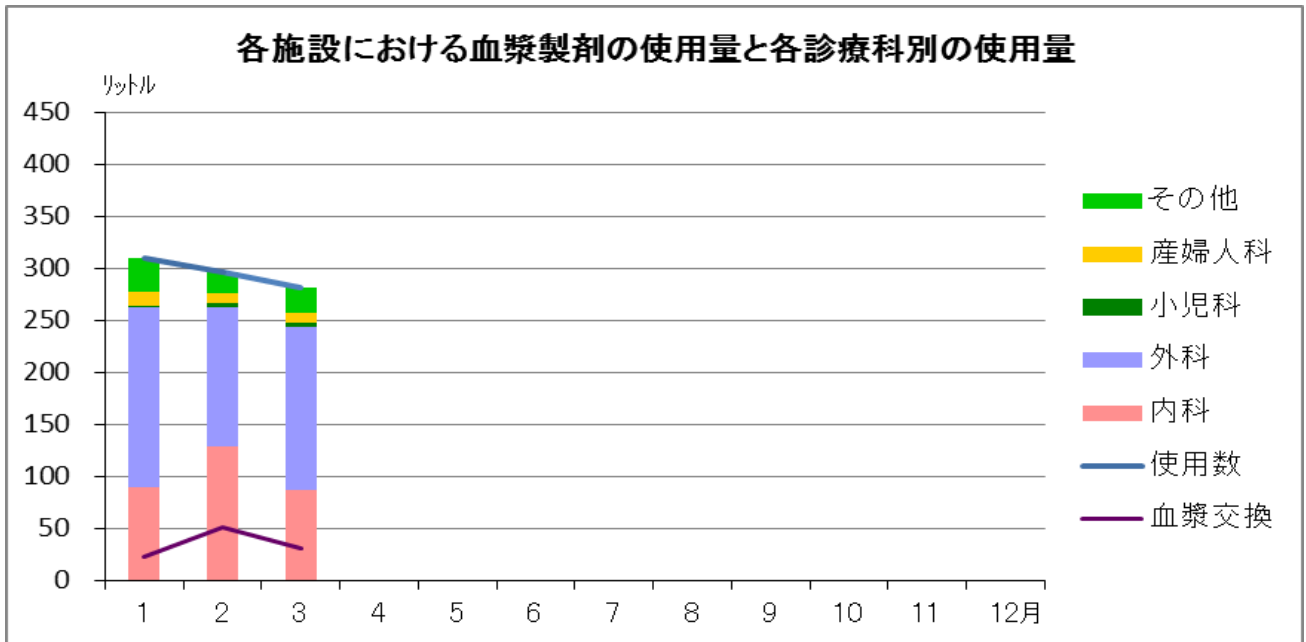
## ○血漿製剤

血漿製剤の使用量と各診療科別による使用量

\*各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (リットル)	血漿交換	診療科別					計	全体の使用量 に対する割合 (%)
			内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	173.6	13.7	60.0	84.2	3.7	7.2	18.5	173.6	100.0
B	55.2	7.7	19.2	33.8	0.0	0.2	1.9	55.2	100.0
C	5.8	0.0	0.0	4.1	0.0	1.7	0.0	5.8	100.0
D	33.7	9.1	4.1	25.7	0.0	0.0	4.0	33.7	100.0
E	10.4	0.0	1.7	8.8	0.0	0.0	0.0	10.4	100.0
F	2.6	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	100.0



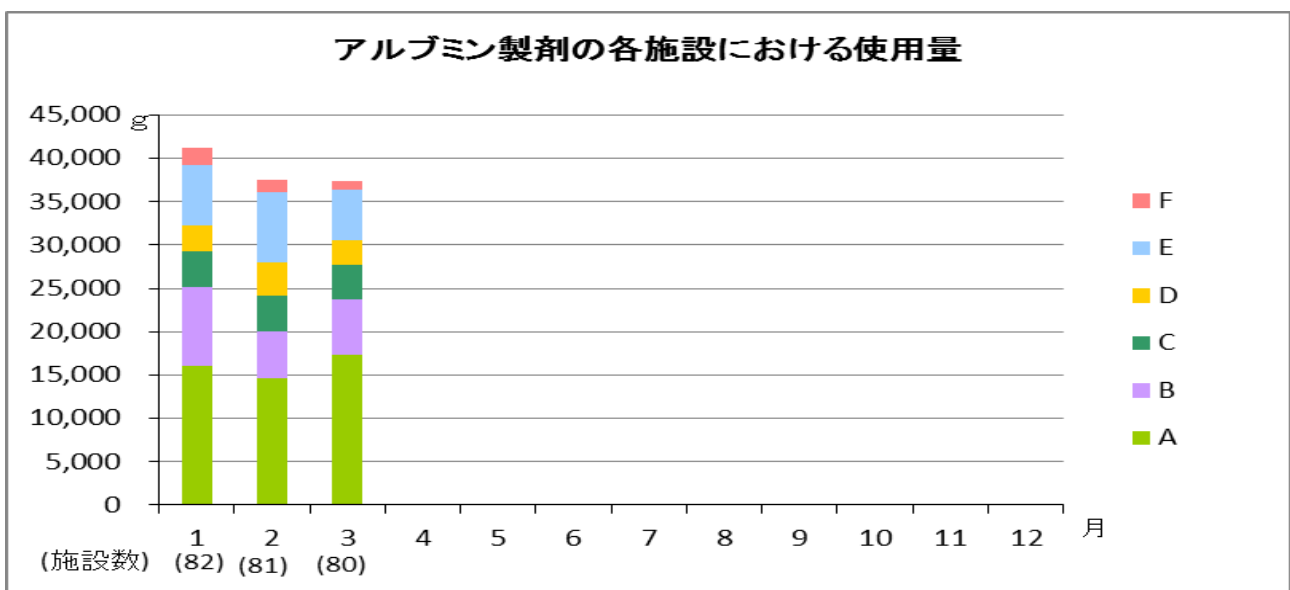


## ○アルブミン製剤

アルブミン製剤の使用量と各診療科別による使用量

- \* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示
- \* 他の血液製剤と異なり全ての医療機関から回答を頂けていないため、入力されたデータのみ表示
- \* ( ) 内はアルブミン製剤の使用量の入力がされた施設数を表したのもの

規模別	全体の使用量 (グラム数)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A (6/6)	17,287.5	2,612.5	3,860.0	182.5	447.5	247.5	7,350.0	42.5
B (4/5)	6,462.5	3,287.5	2,987.5	0.0	37.5	150.0	6,462.5	100.0
C (7/7)	3,988.5	2,392.5	1,558.5	0.0	37.5	0.0	3,988.5	100.0
D (9/9)	2,761.7	1,427.8	596.4	0.0	0.0	0.0	2,024.2	73.3
E (23/23)	5,938.5	3,942.5	1,083.5	0.0	0.0	50.0	5,076.0	85.5
F (31/32)	923.5	612.5	311.0	0.0	0.0	0.0	923.5	100.0

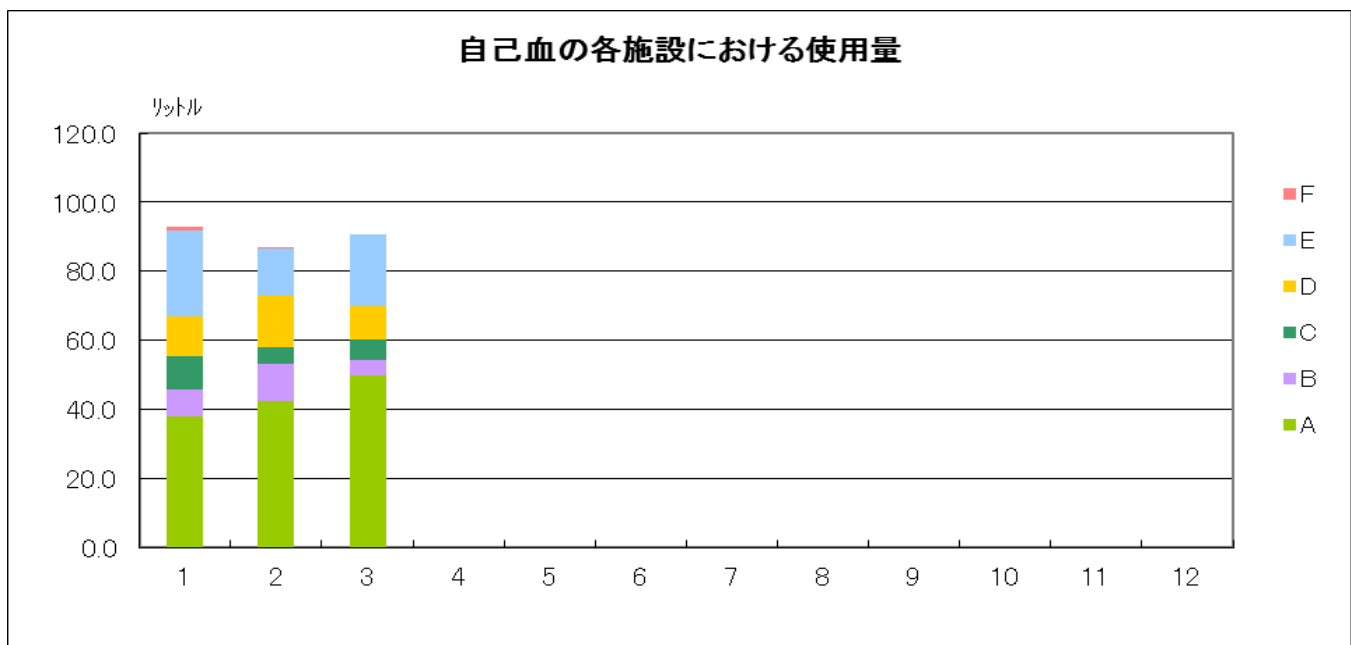


## ○自己血

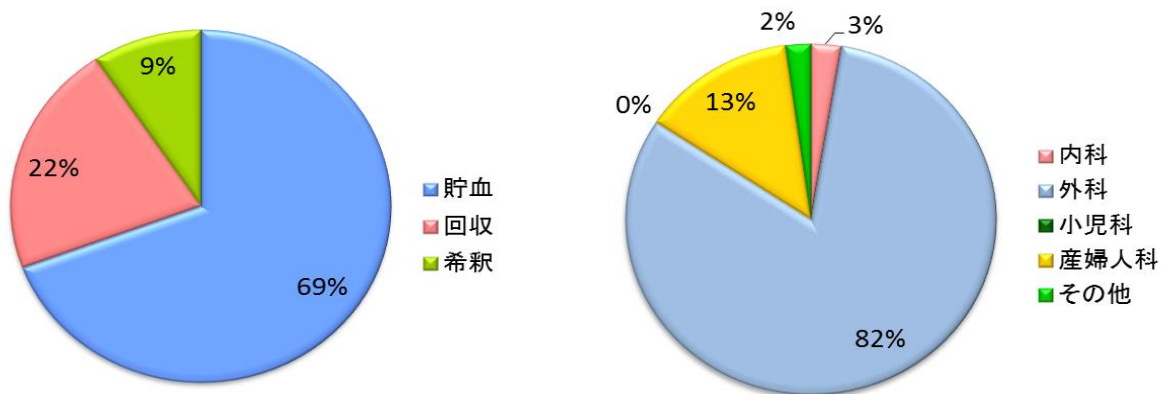
自己血の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	自己血使用量(リットル)				診療科別							全体の使用量に対する割合(%)
	貯血	回収	希釈	計	内科	外科	小児科	産婦人科	その他	計		
A	27.5	13.9	8.5	49.9	2.4	37.9	0.0	9.5	0.0	49.9	100.0	
B	2.0	2.5	0.0	4.5	0.0	4.1	0.0	0.4	0.0	4.5	100.0	
C	6.0	0.0	0.0	6.0	0.0	5.6	0.0	0.4	0.0	6.0	100.0	
D	6.5	3.0	0.0	9.5	0.0	6.8	0.0	0.7	2.0	9.5	100.0	
E	20.8	0.0	0.0	20.8	0.0	19.6	0.0	1.2	0.0	20.8	100.0	
F	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!	
計	62.8	19.4	8.5	90.7	2.4	74.0	0.0	12.2	2.0	90.7	100.0	



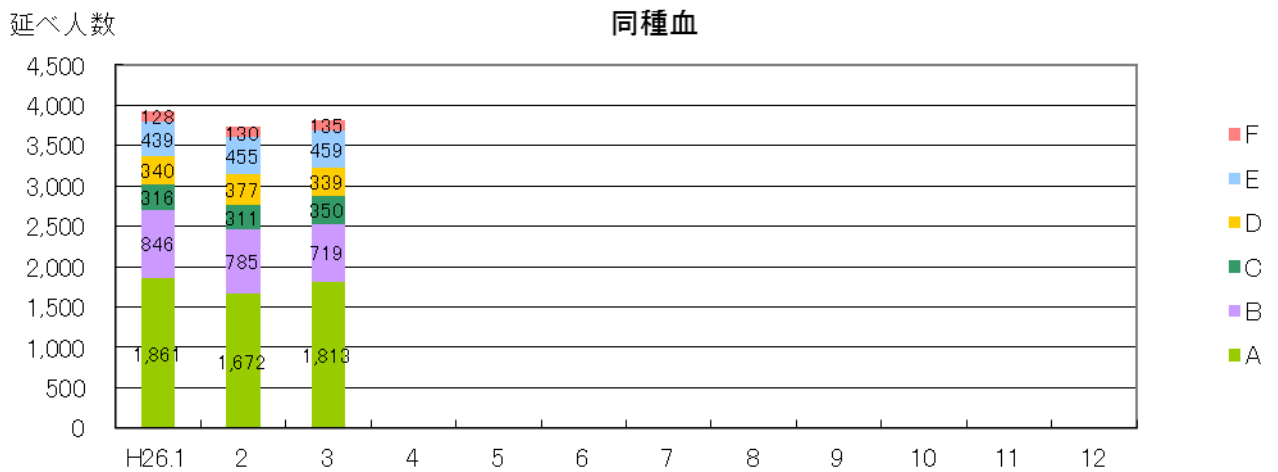
【自己血輸血の種類と診療科別の割合】



○輸血実施患者数（延べ人数）

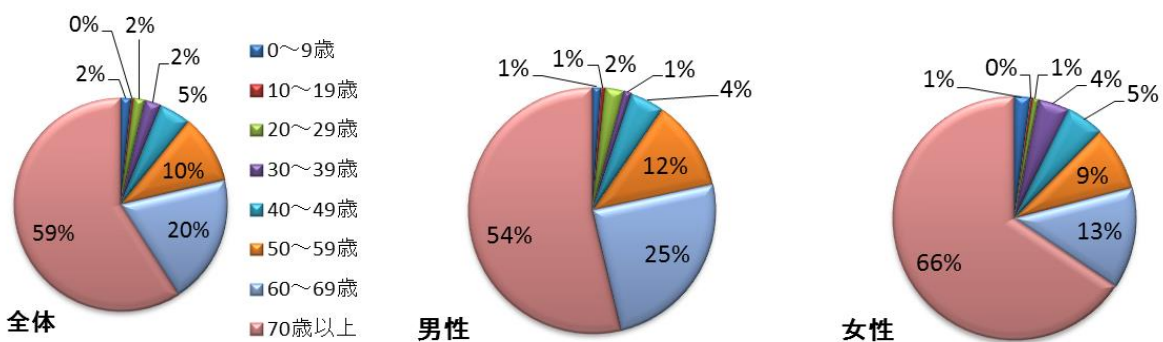
3月	A	B	C	D	E	F	Total
同種血	1,813	719	350	339	459	135	3,815
1床あたり	0.51	0.34	0.15	0.15	0.12	0.08	0.25
自己血	93	11	13	22	29	0	168
アルブミン	457	332	228	160	253	35	1,465

※ アルブミンについては全施設がデータ提出しているわけではないので参考データ扱い。



【男女別年代別の同種血延べ人数】（データ提出された 56 施設分のみ）

3月	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	Total
男	16	7	35	15	63	168	347	755	1,406
女	24	4	9	48	59	99	155	760	1,158
計	40	11	44	63	122	267	502	1,515	2,564

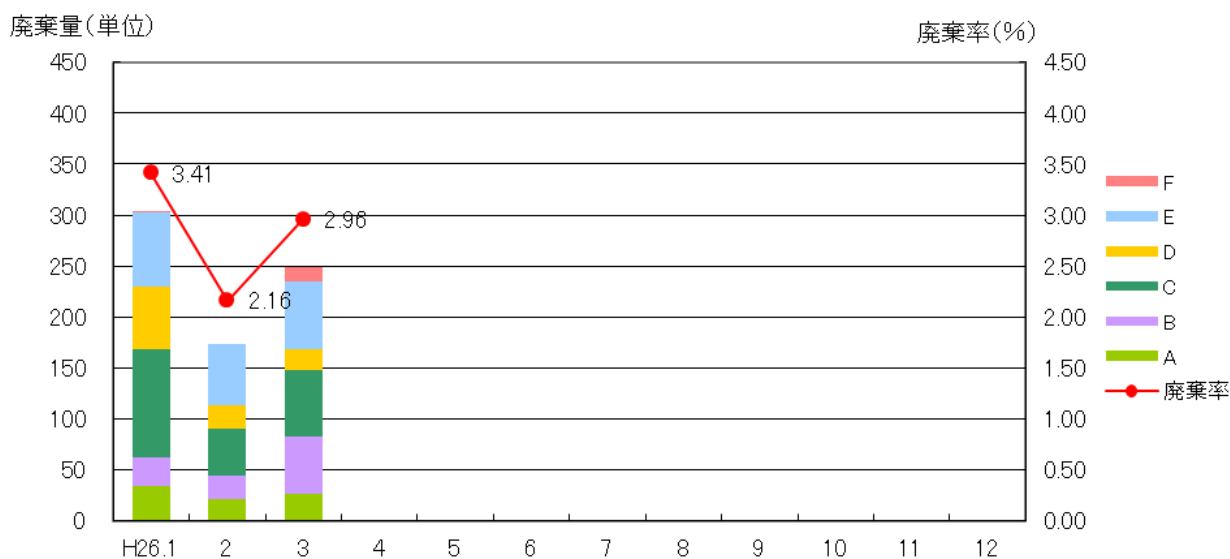




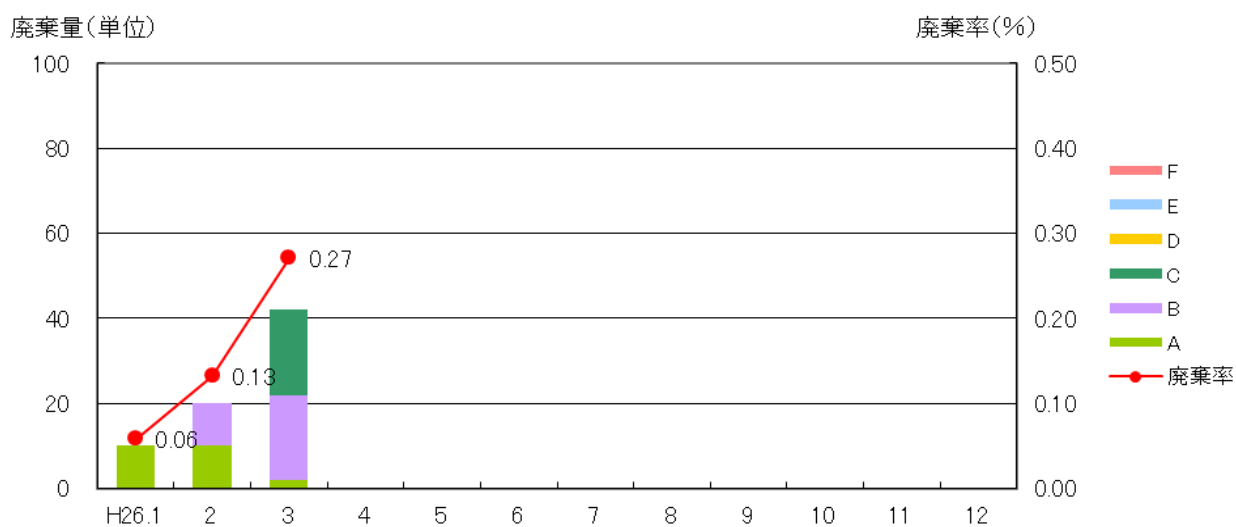
### ○血液製剤及び自己血の廃棄率

3月	A	B	C	D	E	F	Total
赤血球製剤(単位)	27	56	65	21	66	14	249
血小板製剤(単位)	2	20	20	0	0	0	42
血漿製剤(リットル)	1.9	0.7	0.7	0.2	0.5	0.0	4.1
自己血(リットル)	4.7	0.0	3.2	1.3	1.2	0.8	11.2

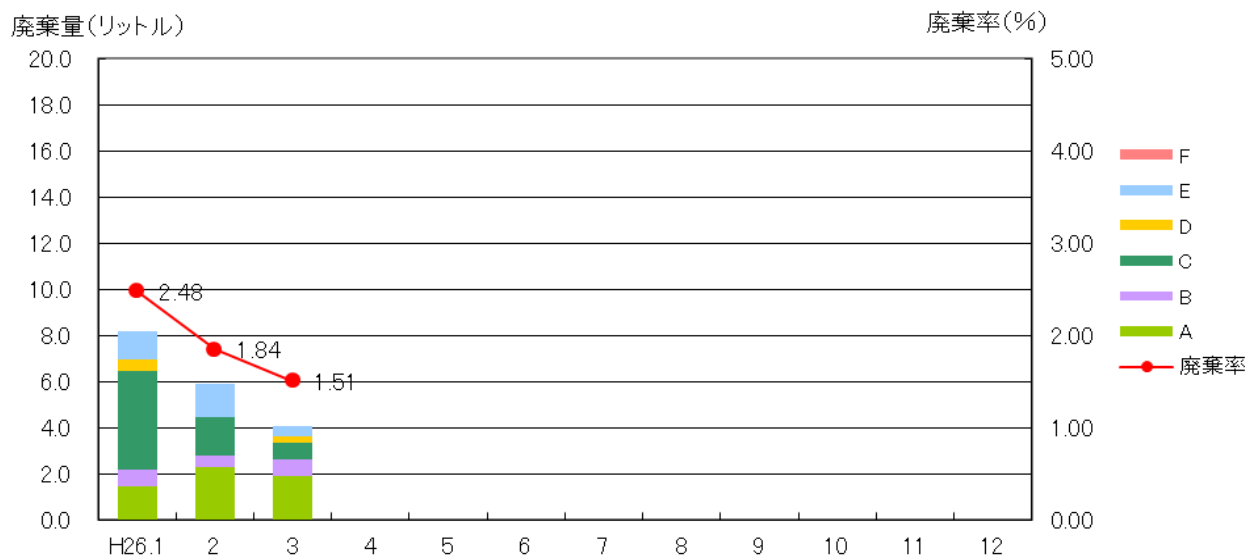
#### 赤血球製剤の廃棄量と廃棄率



#### 血小板製剤の廃棄量と廃棄率



### 血漿製剤の廃棄量と廃棄率



### 自己血の廃棄量

